

幸田源内大夫

○幸田源内大夫 (こうだ げんない-たゆう)

幸田家は、祓名、幸田(内蔵)大夫(宮後町)、幸田主計大夫(宮後町)、幸田源内大夫(曾禰町)の3家、あるいは、幸田(内蔵)大夫・幸田主計大夫(宮後町)と幸田源内大夫(曾禰町)の2家があり、各家、師職年寄家で、正六位、それぞれ外宮別宮土宮内人、外宮宮掌大内人兼別宮土宮守見物忌、外宮宮掌大内人兼別宮月読宮守見物忌を務めていた。幸田源内大夫の配札国は度会郡、相模、三河、遠江、備前、信濃であった。



幸田源内墓@天神丘墓地

○1879明治12年御師取調帳によると、(幸田幸次郎:明治11年養父光宣通称肥後隠居幸次郎相統)

氏名	通称		住所	家格	職	祓名	配札国
幸田源内 幸田 東 より分家	采女 守見	正六位 平民	曾禰町 66番地	師職 年寄	豊受大神宮宮 掌大内人(兼) 別宮月読宮守 見物忌	幸田源内大夫(1株)	度会郡、相模、三 河、遠江、備前、 信濃 慶長年間
幸田 東	榊原 東、 内蔵	正六位 平民	宮後町 44番地	師職 年寄	豊受大神宮別 宮土宮内人	幸田大夫(1株) 幸田半工門(1株) 中西造酒大夫(銘讓) 三頭文左衛門(銘讓)	三重郡、尾張、近 江、三河、播磨、 ほか多数
幸田 幸次郎	幸田 数	正六位 (平民)	宮後町 44番屋 敷幸田 東同居	師職 年寄	豊受大神宮宮 掌大内人(兼) 別宮土宮守見 物忌	幸田大夫(1株) 幸田主計大夫(1株) 宮井将監(1株)	遠江、駿河、伊 豆、甲斐

○1797寛政9年伊勢路見取絵図には高柳(曾禰町)に「幸田酒造」あり

○伊勢度会人物誌と宇治山田市史によると、

名前	通称	字	号	生・住所	生	没	歳	
光隆	亀吉・内蔵	子棟	西湾	宮後	1725 享保 10	1798 寛政 10	74	和漢学
光孚 光享		公貞	謙堂・停 雲・朴堂		1751 宝暦元	1816 文化 13	66	光隆の養嗣 詩文書法
光漨	内蔵	子雍	錦城	宮後	1791 寛政 03	1861 万延元	70	光孚の男
正光	春亭	子相		八日市場	1764 明和元	1816 文化13	53	中川弘道二男 土宮玉串内人、正六位 上 詩賦、茶儀
光○	○常へんに昏 要人・源内	伯養	柳所・松 崖	曾禰	1789 寛政元	1849 嘉永2	61	正光の長男 墓屏風山 詩、和歌
光訓	主計	士徳	李溪	宮後	1751 宝暦元	1818 文化15	68	榊原孟以の男、光雄の 養嗣 音楽 笛 詩文 画
光融	主計		雪屋	宮後	1819 文政2	1870 明治3	52	土宮守見物忌 正六位 上 和歌・四条派画
光潤	因幡	生民	双浦	宮後				土宮玉串内人 正六位 上 詩賦 茶儀
光翼	主計			宮後				春庭門人、国学、和歌
光和								詩、名勝詩集
?			柳湾	宮後				書、詩文